

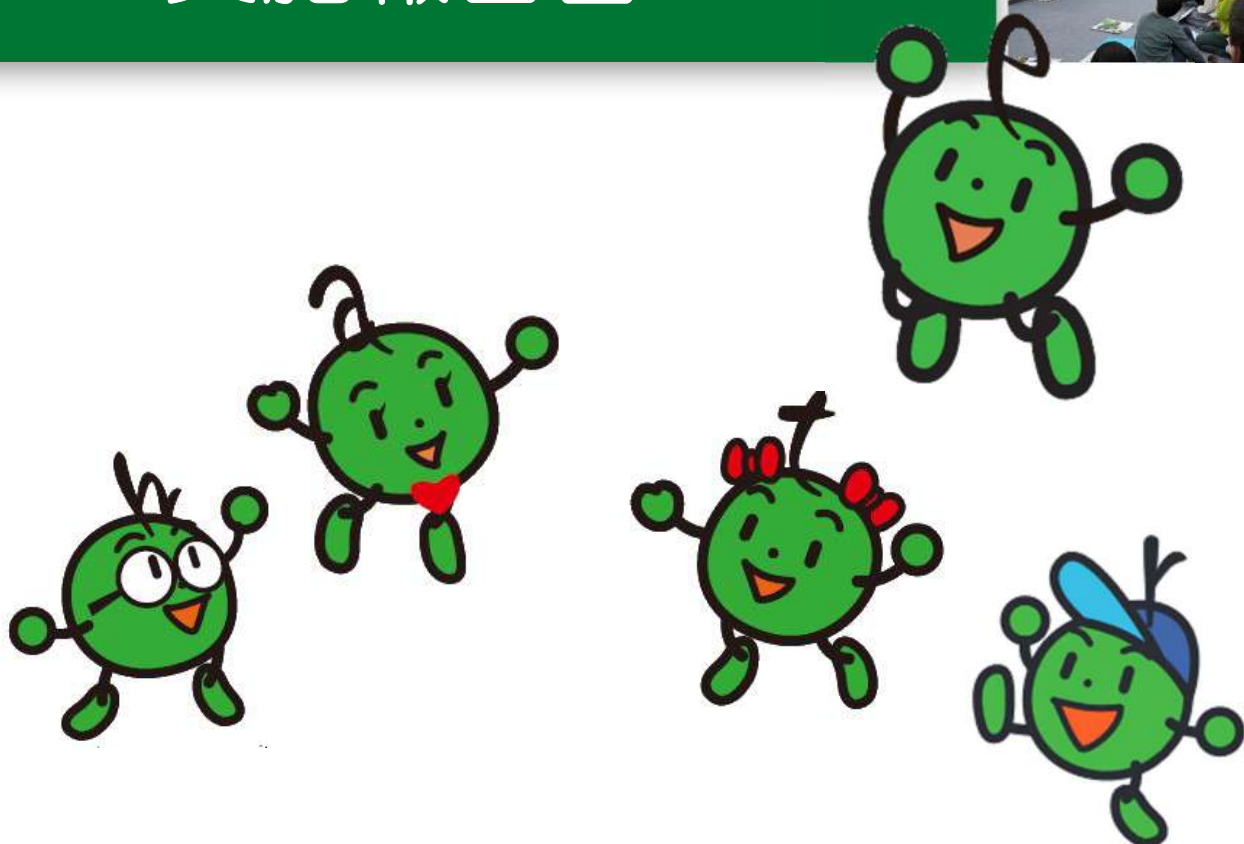


令和7年度

こどもエコクラブ全国フェスティバル 2026

～未来へつなぐ★ 30年のエコアクション～

実施報告書



はじめに

こどもエコクラブは、子どもたちの環境活動・環境学習を支援することにより、自然を大切に思う心や、環境問題の解決に向けて自ら考え行動する力を育むとともに、地域における環境活動の広がりを促進することを目的として、1995年にスタートしました。

2025年度は、全国で2,446クラブ、3歳から高校生まで95,466名の子どもたちと、20,109名のサポーターが、地域に根差した環境活動を展開しました。これらの活動成果の発表の場として、2026年3月にこどもエコクラブ全国フェスティバルを開催しました。

参加したクラブは、壁新聞や絵日記、デジタル作品を用いた発表や交流を通じて地域や分野を越えた学びを深め、次なる活動への意欲を高めました。また、企業・団体による展示は、社会における多様な環境への取組を学ぶ貴重な機会となりました。30周年の節目となった本大会では、これまでの歩みを振り返る展示やメッセージコーナー等を展開、卒業生へのインタビュー動画上映を行いました。これらは、活動の積み重ねや世代を超えたつながりを共有し、多くの人々の想いが現在の活動の核となっていることを再確認する場となりました。

さらに、運営面では卒業生(All Japan Youth Eco-club)を中心としたユース世代が主体的に参画しました。彼らの活躍は、円滑な運営を支えるのみならず、参加した子どもたちにとって身近なロールモデルとなり、本事業が次世代を担う人材育成につながっていることを改めて確認する機会となりました。加えて、当日来場した企業・団体からも、世代を超えたつながりの中で主体的に活躍する姿に対し高い評価が寄せられ、本事業の持つネットワークの広がりや人材育成の成果が示される場ともなりました。

30年にわたり積み重ねてきた活動の成果とネットワークを礎として、今後は各地域における交流や学びの場をより一層充実させるため、地域に根差した交流会の支援へと展開していくことを検討しています。

本報告書は、本フェスティバルの実施内容を取りまとめたものです。こどもエコクラブ事業への理解を深めていただくとともに、今後の連携・協働の推進に向けた参考となれば幸いです。

目次

開催概要	3	推しのエコアクションをみつけよう！	16
プログラム	4	こどもエコクラブ30周年記念展示	17
オープニングセレモニー	5	パネル展「全国フェス30年のあゆみ」	18
交流タイム	5	クロージングセレモニー	20
環境省挨拶	5	参加クラブからの活動レポート・サポーターの声	21
表彰式	6	参加クラブ一覧	22
受賞作品一覧	8	広報・普及活動	23
エコ活セッション	11	こどもエコクラブ支援企業・団体一覧	26
企業・団体の環境への取組を見よう！	12		

開催概要

- イベント名: こどもエコクラブ全国フェスティバル 2026 ～未来へつなぐ★30年のエコアクション～
- 実施目的: 熱心に活動をしている全国各地のこどもエコクラブの子どもたちが集い、環境活動の紹介を通じて相互の交流を深めるとともに、これらの情報を広く発信することにより、こどもエコクラブの活動の活性化及び本事業への理解と参加促進を図ります。

称える

活動発表や展示の機会を設け、一年間のがんばりを称え合う。

交わる

全国で活動する仲間(子ども・大人)の交わり場を提供する。

知る

様々な体験学習を通じて新しい発見を得る。

広める

「こどもエコクラブ」事業への理解と参加を広く呼びかける。

- 開催日 : 2026年3月21日(土)
- 会場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
- 主催 : 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
- 後援 : 環境省、文部科学省、こども家庭庁、
独立行政法人国立青少年教育振興機構、公益財団法人古紙再生促進センター、
公益社団法人こども環境学会、全国小中学校環境教育研究会、
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- 特別協力 : こくみん共済 coop <全労済>、株式会社タカラトミー、株式会社ミールケア
- 出展企業・団体:
株式会社NHKエンタープライズ、株式会社エフピコ、加山興業株式会社、
公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団、国立環境研究所 気候変動適応センター、
公益財団法人古紙再生促進センター、株式会社佐川急便、
リサイクル・プラザ JB(株式会社ジャパンビバレッジエコロジー)、3R推進団体連絡会、
全国牛乳容器環境協議会、日本CCS調査株式会社、一般社団法人日本WPA、
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、文化シャッター株式会社、
公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局
- 協力 : All Japan Youth Eco-club、トヨタ自動車株式会社、パナソニックマーケティングジャパン株式会社、
目白大学、早稲田大学学生環境NPO 環境ロドリグス ecoSMILE
- 参加者 : 360名
 - ・都道府県代表クラブ: 220名 (子ども118名、大人102名)
 - ・絵日記受賞メンバー: 12名 (子ども7名、大人5名)
 - ・デジタル作品受賞クラブ: 4名 (子ども2名、大人2名)
 - ・一般来場者: 16名
 - ・省庁、こどもエコクラブ自治体担当者、支援企業団体等 関係者: 10名
 - ・出展企業・団体担当者: 52名
 - ・ユースボランティア、スタッフ: 46名

「全国エコ活コンクール」各部門にて選出

○都道府県代表クラブ

1年間の活動などをまとめた「壁新聞」をもとに、独創性・発展性・アピール力・地域への密着性等の観点から選ばれたクラブ。各都道府県から原則1クラブ選出。

○絵日記受賞メンバー

1年間で印象に残った活動等を描いた絵日記の優秀賞受賞メンバー。

○デジタル作品受賞クラブ

1年間の活動などをまとめた映像・パワーポイントなどの作品の優秀賞受賞クラブ。

プログラム

時間	プログラム	展示
9:30～10:00	◆集合、受付	
10:00～10:10	◆オープニングセレモニー はじまりのあいさつ 司会:こどもエコクラブ卒業生	
10:10～10:30	【交流タイム】「エコアクションズ ～みんなもできているかな～」 進行:早稲田大学 学生環境 NPO 環境ロドリゲス ecoSMILE 参加者のエコアクションを確認しながらアイスブレイク。クイズや動画をもとに自分たちのエコアクションを振り返りながら、クラブの自己紹介も行います。	
10:30～11:00	◆環境省挨拶 (ビデオメッセージ) 環境省 環境副大臣 青山繁晴 様 ◆全国エコ活コンクール 表彰式 【壁新聞部門】 環境大臣賞:青森県弘前市「HEP21 エコクラブ」 文部科学大臣賞:長崎県佐世保市「だいやエコクラブ」 日本環境協会賞:宮城県仙台市「スケッチ子供隊」 こくみん共済 coop 賞:静岡県富士市「原田湧水クラブ」 タカラミー賞:栃木県真岡市「真岡児童館やさしクラブ」 【幼児部門】ミールケア・エコまる賞: 大阪府高槻市「柱本保育園こども未来学舎 え〜こ・レンジャー」 【絵日記部門】優秀賞: 梅原 かおる子さん(茨城県水戸市「逆川こどもエコクラブ」) 木原 諒さん(大阪府大阪市「せいわエコクラブ」) 山谷 聡友さん(青森県弘前市「HEP21 エコクラブ」) 岡部 陽生さん(大阪府大阪市「プラネットリーダーズ」) 【デジタル作品部門】 栃木県栃木市「学生団体 Rainbow」	・こどもエコクラブ 30周年記念展示「全国フェスティバル 30年のあゆみ」及びメッセージコーナー
11:00～11:20	◆企業・団体紹介 企業・団体ブースで展示している環境に関する取り組み内容の紹介	・こどもエコクラブ応援企業・団体一覧
11:30～13:15	◆昼食 ◆エコ活セッション～未来へつなぐわたしたちのエコアクション！～ 壁新聞や絵日記、デジタル作品をもとに、子どもたちが日頃の活動を発表・取材しあいます。	
13:15～15:10	◆企業・団体ブース見学 企業・団体ブースを回って、最新の環境への取り組みを学びます。 ◆全国フェス 30周年展示～想いをのせて育てよう！未来につながる木～ こどもエコクラブ 30周年記念展示「全国フェスティバル 30年のあゆみ」とともに過去の全国フェスの様子をふりかえり、葉っぱ型のメッセージカードにわたしたちの活動と未来への想いを書いて、葉っぱいっぱい「未来につながる木」をみんなで作ります。 ◆推しのエコアクションをみつけよう！ 他のクラブの作品をみて「これいいね！」推しポイントを探します。	
14:50～15:05	(公財)日本環境協会×(株)アドバコム「環境教育の社会実装に向けた連携協定」締結式	
15:10～15:30	◆クロージングセレモニー ・こどもエコクラブ OB・OG へのインタビュー動画上映 ・全国フェスティバルのふりかえり ・閉会の挨拶	

オープニングセレモニー

記念すべき30周年の全国フェスティバルは、「HEP21 エコクラブ」「逆川こどもエコクラブ」「こどもエコ広場新宿」で活動してきた先輩たちが、明るく元気に進行して会場を盛り上げてくれました。自身が活動していた頃を思い出しながら、今回は迎える側として全国から集まった仲間たちをあたたかく迎えました。

また、こどもエコクラブの卒業生をはじめ、目白大学で環境教育を学ぶ学生や、早稲田大学 学生環境 NPO 環境ロドリゲス ecoSMILE のメンバーなど、多くのユース世代が運営をサポート。会場にはおなじみの「エコまる」が全国の仲間を歓迎して子どもたちの笑顔が広がる、にぎやかなオープニングとなりました。



交流タイム「エコアクションズ ～みんなもできているかな～」

全国からどんなクラブが来ているのかな？どんな活動をしているのかな？会場には初めて顔を合わせる仲間たちが集まり、都道府県代表としての責任感もあって、少し緊張した様子が見られました。そんな雰囲気の中、交流プログラムでメンバー同士がお互いを知る時間をつくりました。

企画・進行を担当してくれたのは、早稲田大学 学生環境 NPO 環境ロドリゲス ecoSMILE のみなさん。動画を見ながら日ごろのエコアクションをチェックするアクティビティでは、「暑いのに長袖でエアコンを使っている！」「食べ残しをしている！」など、笑いも交えたやり取りで会場から次々と手があがりました。会場は予定時間いっぱいまで発言が飛び交い、大いに盛り上がりました。発言の際にクラブ紹介を入れたこともあり、メンバー同士の距離も近づき、「もっと話したい」「他のクラブの活動を知りたい」という気持ちが高まったところで、メインプログラムの「エコ活セッション」へ。全国の仲間との交流をさらに深めていく、良いスタートとなりました。



環境省挨拶

こどもエコクラブの活動を応援している環境省から、青山繁晴環境副大臣よりビデオメッセージをいただきました。2026年冬季五輪のアルペン競技で、地球温暖化の影響により雪がやわらかくなり、選手が怪我をしてしまったというエピソードも紹介され、環境問題が身近なところにも影響していることが伝えられました。そのような中で、日ごろから地球環境のことを考え行動しているメンバーへの敬意とともに、今後の活動がさらなる広がりを見せることへの大きな期待が込められた、心強いメッセージをいただきました。



表彰式

1年間の活動についてまとめた壁新聞・絵日記・デジタル作品を募集した「全国エコ活コンクール」の受賞クラブ・受賞メンバーに対して、環境大臣賞をはじめとする各賞が贈られました。



壁新聞部門 受賞クラブ

壁新聞部門 環境大臣賞:HEP21 エコクラブ

賞名	クラブ名
環境大臣賞	HEP21 エコクラブ(青森県弘前市)
文部科学大臣賞	だいやエコクラブ(長崎県佐世保市)
日本環境協会賞	スケッチ子供隊(宮城県仙台市)
こくみん共済 coop 賞	原田湧水クラブ(静岡県富士市)
タカラトミー賞	真岡児童館やさしクラブ(栃木県真岡市)



文部科学大臣賞:だいやエコクラブ



日本環境協会賞:スケッチ子供隊



こくみん共済 coop 賞:原田湧水クラブ



タカラトミー賞:真岡児童館やさしクラブ(表彰式欠席のため、動画にてメッセージを伝えました)



絵日記部門 受賞メンバー

賞名	クラブ名	名前
優秀賞	逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市)	梅原 かおる子さん
優秀賞	せいわエコクラブ(大阪府大阪市)	木原 諒さん
優秀賞	HEP21 エコクラブ(青森県弘前市)	山谷 聡友さん
優秀賞	プラネットリーダーズ(大阪府大阪市)	岡部 陽生さん



梅原 かおる子さん



木原 諒さん



山谷 聡友さん



岡部 陽生さん



デジタル作品部門 受賞クラブ

賞名	クラブ名
優秀賞	学生団体 Rainbow(栃木県栃木市)



学生団体 Rainbow



壁新聞



◆環境大臣賞
HEP21 エコクラブ (青森県弘前市)
「だんぶり池の仲間たち」



◆文部科学大臣賞
だいやエコクラブ (長崎県佐世保市)
「こどもサステナブル新聞 2025」



◆日本環境協会賞
スケッチ子供隊 (宮城県仙台市)
「Let's 水みらい新聞」



◆こくみん共済 coop 賞
原田湧水クラブ (静岡県富士市)
「未来へつなげ富士のめぐみと自然」



◆タカラトミー賞
真岡児童館やさしクラブ (栃木県真岡市)
「ひろげよう えがおのわたげ」

絵日記



◆優秀賞
梅原かおる子さん「へいけぼたるさんまたあおうね」
逆川子どもエコクラブ（茨城県水戸市）



◆優秀賞
木原 諒さん 「オオカマキリを見つけた」
せいわエコクラブ（大阪府大阪市）



◆優秀賞
山谷 聡友さん「ぼくたちのだんぶり池」
HEP21 エコクラブ（青森県弘前市）



◆優秀賞
岡部 陽生さん「上流も下流も同じきれいで流れる水の未来」
プラネットリーダーズ（大阪府大阪市）

デジタル作品部門

◆優秀賞 学生団体 Rainbow（栃木県栃木市） 「捨てない防災 ～アルファ米から始まる日常の備え～」

※作品QRコード



ミールケア・エコまる賞

全国フェスティバルへの参加が難しい保育園・幼稚園のクラブなどメンバー全員が幼児のクラブには別途審査を行い、株式会社ミールケアのご提供により「ミールケア・エコまる賞」を贈呈し、クラブの活動場所に「エコまる」が出向いて表彰状を授与するとともに、メンバーと一緒に楽しい体験プログラム「エコまるのエコ教室」を行います。

今回受賞した柱本保育園こども未来学舎 え〜こ・レンジャーには3月5日に訪問、プログラムを実施しました。



エコまるドミノに挑戦！



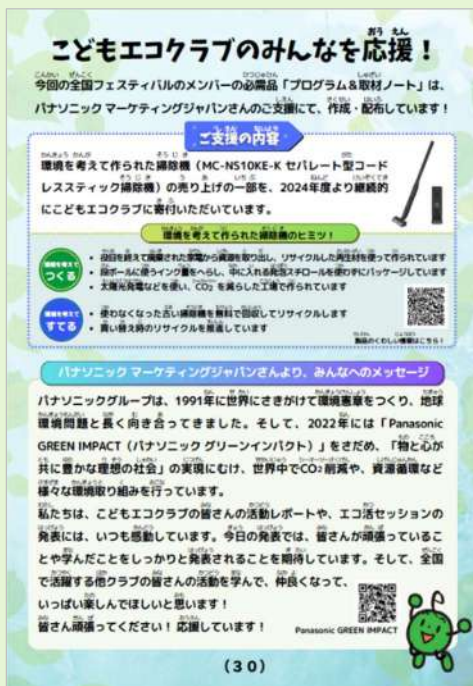
表彰の様子
(2026. 3. 5)

柱本保育園こども未来学舎 え〜こ・レンジャー
(大阪府高槻市)
「ゆきぐみ え〜こ・レンジャー新聞」

取材ノート

全国フェスティバル参加にあたって、メンバーの必需品となる「プログラム&取材ノート」。当日のプログラムやタイムテーブル、エコ活セッションのグループや企業・団体ブースで学んだことをメモできる内容となっています。

今年度は、パナソニックマーケティングジャパン株式会社のご支援で制作・配付いたしました。



(プログラム&取材ノートより一部ページ抜粋)

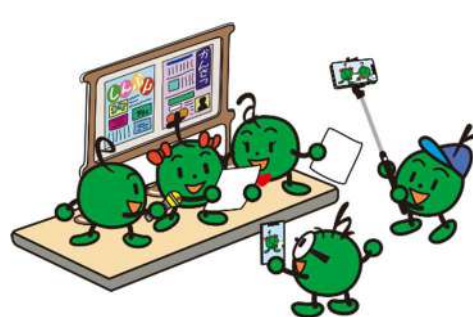
エコ活セッション

いよいよ全国フェスティバルのメインプログラム「エコ活セッション」がスタート！グループに分かれ、それぞれのクラブが1年間の活動をまとめた「壁新聞」や「絵日記」「デジタル作品」をもとに、発表と交流を行いました。

生物多様性や農業、防災や海岸清掃、ごみ問題、リサイクル、フードロスなど、テーマは多種多様。それぞれの地域ならではの課題に向き合い、工夫を重ねてきた活動が紹介されました。発表するメンバーは少し緊張しながらも、「自分たちの活動を伝えたい」という思いを胸に、堂々と発表していました。手作りの資料や工夫を凝らした発表も多く、どのグループも個性あふれる内容となっていました。

発表を聞くメンバーも真剣そのもの。うなずいたりメモをとったりしながら、他のクラブの活動に耳を傾けていました。質問や感想のやり取りも活発に行われ、互いの活動への理解を深めていきました。関係者や企業・団体、OB・OGなど多くの来場者も見守る中、会場は子どもたちの熱気に包まれました。

また、発表の合間には手作りの名刺を交換する姿も見られ、新たなつながりが生まれていました。地域や分野を越えて交流したメンバーたちは、全国に仲間がいることを実感し、これからの活動への意欲をさらに高めている様子でした。(参加クラブ 22 ページ参照)



企業・団体の環境への取組みを見てみよう！

午後のプログラムでは、企業・団体によるブース見学を行い、各団体の取組について紹介いただきました。こどもエコクラブを応援している企業・団体の方から、環境に配慮したさまざまな取組について直接話を聞くことができる貴重な機会であり、毎年多くのメンバーが楽しみにしているプログラムです。今年も15の企業・団体が出展し、それぞれの取組を紹介してくださいました。

メンバーは各ブースを回りながら、企業・団体が環境保全のために行っている工夫や最新の技術について、クイズや展示、実物や模型などを通じて学びました。担当者の方々とやり取りも活発に行われ、会場では次々と質問が飛び交い、子どもたちの関心の高さがうかがえました。企業・団体の方々もそれに応えるように丁寧に説明してください、双方にとって充実した交流の場となりました。たくさんのブースを回ったメンバーは、各ブースで学んだことや感じたこと、考えたことをメッセージとしてまとめました。これらの「こどもエコクラブからのメッセージ」は、出展いただいた企業・団体へお届けします。



企業・団体の出展内容

NHK エンタープライズ株式会社

地球温暖化をテーマにしたショートアニメ「FUTURE KID TAKARA」を通して、気候変動の現状と未来の地球の姿を知り、いま私たちにできる行動について考えました。食べものや生きもの、スポーツへの影響等、私たちの身近なテーマで気候アクションの重要性を実感しました。



FUTURE KID TAKARA
いさいの自せんはが
つえいそらが小布
に。
サッカー
つげけいから
かんばき。

株式会社エフピコ

食品トレーのリサイクル「トレーto トレー」の仕組みを紹介。使用済みトレーが工場ですべて新しいトレーとして生まれ変わる循環型リサイクルについてVR体験も交えて学びました。分別や回収への協力といった私たちの身近な行動が、この仕組みを支えていることを知りました。



エフピコ
バーチャルをもうでかく
説明があつてわかりやす
です。個人的にいじばい
しょうです！
VRだとあごそばで
工程を見らるとこも
面白かった！！

加山興業株式会社

ごみから生まれた資源を実際に見て触れながら学ぶとともに、ミツバチの飼育や里山整備との関わりも紹介されました。クイズ「みつばちQ」を通じて、ごみ・自然・地域環境が繋がっていることを理解し、循環型社会について考えました。



加山興業
「ごみ」「みつばち」「里山」と
かんけいのないと思つた
けどみつばちには空気が
きれいなところではかせ
いかならないとしてさ
るつなつた

公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団

地域に根ざした環境教育・環境保全活動を支援する「コカ・コーラ環境教育賞」の受賞作品を見て、様々な素晴らしい活動に触れました。体験学習の機会について知ること、環境活動の広がりや継続の大切さを学びました。自身も挑戦したいという声も多く聞かれました。



コカ・コーラさんへ
合宿に行くのが楽しかったが
行きたいでもエコクラブの人を
たくさんいってるみたいだから
いきたくてす。
-昨年 北海道に旅行して
いただいたときとても明るい
雰囲気でした。環境に
ついて学べることができました。
今年は絶対応募します!!

国立環境研究所 気候変動適応センター

近年の気候の変化を踏まえ、生活や社会の中でどのように備えていくかを、動画やガチャガチャ等のゲームを通して学びました。楽しみながら理解を深め、これからの暮らしに必要な「適応」について考える機会となりました。



A-PLAT
かんきょうを学ぶことは
とても大事だが、
てきおうすることも
大事だと分かった。

公益財団法人古紙再生促進センター

ゲームを通して「古紙」と分別について楽しく理解を深めました。射的で紙箱や紙パックなどを狙って当てた後、種類ごとに分ける体験を通して、リサイクルに必要な分別方法を習得しました。遊びながら取り組める内容で、日常生活における分別の大切さを実感しました。



古紙再生促進センター様
射的であてた景品を
どういった分類にするかがゲーム
性があって子ども達も楽しそう
でした。雑がみという分類を
初めて知り、参考にしました。
ありがとうございました。

佐川急便株式会社

環境に配慮した物流の仕組みや電気車で走るトラックでの配送の取組のほか、リサイクル素材のユニフォーム、森林保全活動など、荷物を届ける仕事の中にも多くの工夫があることを学びました。実際のユニフォーム体験もあり、楽しみながら関心が高まる機会となりました。



SAGAWAさんへ
球会社が森を持ってる
のが良いと思いました。
そんなことをしていることを
しるなれたので、お知りしました。
これからどういふことなかに
なりたいですね。

リサイクルプラザ JB (株式会社ジャパンビバレッジエコロジー)

リサイクル工場の役割と、回収されたペットボトルが新たなボトルへと生まれ変わる「ボトル to ボトル」の仕組みを中心に学びました。大きなペットボトルの塊の実物展示に参加者は驚き！資源が循環する流れを実感し、分別の重要性について改めて理解を深めました。



リサイクルプラザ JB
さんへ
リサイクルについて詳しく
教えてくれたのがとても
良かったです。リサイクルボトル
に代わって新しいものをいれ
ると本当にお金が
よく使えます!

3R 推進団体連絡会

容器や包装に関わる 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の重要性やそれぞれの素材が多様な製品に活かされている技術や工夫を知り、資源の有効活用やごみ削減の大切さについて学びました。身近な製品から環境への配慮を考える機会となりました。



今日の活動を
通して、「3R」など
の大切さを考
えました。また、登
表の方では、自然を
大切にしようという
思いを仲間と深
めました。

全国牛乳容器環境協議会

牛乳やジュースなどの紙パック容器のリサイクルのルールや、紙パックの製造・再利用の工夫を知るとともに、リサイクルによってどのような環境効果があるのかを学びました。日常的に使う身近な資源について理解を深め、行動につなげるきっかけとなりました。



全国牛乳容器環境協議会
紙パックの牛乳の
パックは木から作られている
ということを知った。リサイクル
されて最後は再生紙やリ
ットパーパーになることを
知ったのでよかったです。

日本CCS調査株式会社

発電時や工場などから大気中に排出される CO₂を回収して地中に貯留する技術「CCS」について、模型などで確認しながら学びました。最新の技術の仕組みを知るとともに、将来の脱炭素社会構築に向けた波及の重要性について理解を深めました。



J C C S
この CO₂ の処理
のメリットを理
解してたくさん
の企業が参加
してくれれば
良いと思います。

一般社団法人日本 WPA

印刷の仕組み、印刷にかかる環境負荷とその対策について学びました。環境にやさしい「水なし印刷」が教科書やパッケージなど身近な印刷物に使われている技術を知り、環境負荷を減らす工夫について学びました。水なし印刷のしるしバタフライマークの意味も理解し、製品選びの視点が広がりました。



日本 WPA エン
美しい青のラベル
マークが印刷中
にたこエム舞う日
が訪れるのを
楽しみにして
います。

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

容器包装のリサイクルの現状をリサイクル工程の実物を見ながらクイズ形式で学びました。普段あまり見る機会のないリサイクル原料や過程、作られた製品を見ることで、分別が資源循環の第一歩であることに改めて知り、日常の行動の大切さについて考えました。



⑤ 日本容器
包装リサイクル協会
のマークがどこ
にあるかを
探してあげて
リサイクルの
仕組みを学
びました。分
別が資源循環
の第一歩だ
と改めて知
りました。

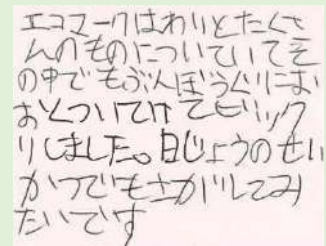
文化シヤッター株式会社

100%リサイクル素材の木材・プラスチック再生複合材「テクモク」の色々な使い方を知り、学びました。見た目は木のようにありながら耐久性に優れているという特徴を、実物に触れることで確かめました。資源を有効活用する新しい取り組みとして理解を深めました。



公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局

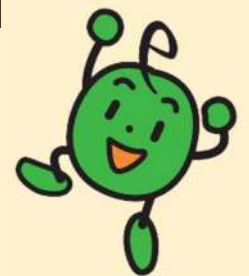
ライフサイクル全体で環境負荷が少ないと認められた製品・サービスの目印「エコマーク」がついた商品の実物を見ながら、環境にやさしい選択の目印としての役割を学びました。日常の買い物と環境とのつながりについて考える機会となりました。



ステージで
出展企業・団体さんによる
ブースの内容紹介もありました！



ブースをまわって
メッセージを書くなどの
プログラムを全制覇で
特製キラキラバッジを
プレゼントしました！



推しのエコアクションをみつけよう！

ほかのクラブの壁新聞・絵日記・デジタル作品を見て、「この活動いいね！」「推せるね！」と思ったポイントを見つけ、メッセージカードに書くプログラムです。地域や活動内容はさまざまですが、クラブが工夫を重ねながら取り組んできた活動には、魅力や学びがたくさん詰まっています。

参加したメンバーは、作品をじっくり見ながら他のクラブの良いところを探し、一つひとつ丁寧にメッセージを書いていました。「こんな取組もあるんだ」「自分たちもやってみたい」といった気づきに加え、伝え方の工夫や見せ方のアイデアなど、壁新聞や絵日記等の作品の作り方についてのコメントも多く見られ、互いの活動からさまざまな刺激を受けている様子がうかがえました。

メンバーから寄せられたメッセージカードは、後日それぞれのクラブへ届ける予定です。交流を通じて得た気づきや学びを、今後の活動につなげていくきっかけとなりました。



**推しのエコアクションを
みつけよう！メッセージカード**

京都府 メンバー用
西京極こどもエコクラブ
の作品の『推し★』はここ！ チーム E へ行こう！

多岐からせんで隠れていることで
読むときにクイズに参加することで
楽しく読むことができます。
おもしろい絵がたくさん書かれていて色鮮やかに
なっていました。
感想がたくさん書かれていたので、
当時に西京極こどもエコクラブの人か
どのようか思い出して活動し、何を学べたのか
が分かり、活動している姿が
思い浮かぶことができる作品でした。

『推し★』を見つけたのは
宮城県
スケッチ子供隊！

**推しのエコアクションを
みつけよう！メッセージカード**

滋賀県 メンバー用
山内エコクラブ
の作品の『推し★』はここ！ チーム B へ行こう！

自分達の足で中流から下流
のごみの様子を見に行っている
のが、そして感じに行っているのが
推せます。ちがいのことをよかっていると思えば
私は小さなことから行動をして
自然を大切にしたいです。

『推し★』を見つけたのは
埼玉県
竹の子エコクラブ！

**推しのエコアクションを
みつけよう！メッセージカード**

大阪府 メンバー用
せいわエコクラブ(絵日記)
の作品の『推し★』はここ！ チーム A へ行こう！

オオカミなんでも私は見つけことか
すこしは川まで。かわべたなることか
知るかよって、じんか感じし、そかくのね
気になりは、またハワカスラという
初めは、新しい知識を得ることができました。

『推し★』を見つけたのは
愛知県
半田こどもエコクラブ！

**推しのエコアクションを
みつけよう！メッセージカード**

都道府県: 島根県 メンバー用
クラブ名: 上津探検隊
の作品の『推し★』はここ！

毎年あるモリアオガエルと
ヤマアカガエルの産卵数の
観察とグラフがすごくて
思いました。
カエルランドとサワガニランドなど
生きものスポットがたくさん
あるみたいで、いつか行って
みたいです！

『推し★』を見つけたのは
都道府県: 神奈川県
クラブ名: 二ツ池こどもエコクラブ！

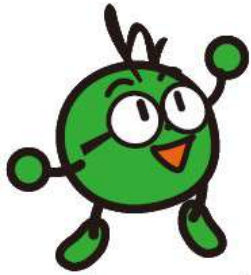
パネル展「こどもエコクラブ全国フェスティバル 30年のあゆみ」

こどもエコクラブ全国フェスティバル 30年のあゆみ

30年前、こどもエコクラブ全国フェスティバルは「代表8クラブ」の交流から始まって、震災、オンライン、そして対面再開、万博へ—
こどもたちの環境活動の輪は、仲間との出会いと学びを重ねながら全国へ広がってきました。
30年の歩みを振り返ります。

これまでの開催一覧

1996年(平成8年) 神奈川県横浜市	2006年(平成18年) 三重県亀山市	2016年(平成28年) 早稲田大学 西早稲田キャンパス(東京都)
1997年(平成9年) 埼玉県川口市	2007年(平成19年) 神奈川県横浜市中区	2017年(平成29年) 早稲田大学 西早稲田キャンパス(東京都)
1998年(平成10年) 愛知県名古屋市	2008年(平成20年) 福岡県北九州市	2018年(平成30年) 日本科学未来館(東京都)
1999年(平成11年) 福岡県北九州市	2009年(平成21年) 日本科学未来館(東京都)	2019年(平成31年) 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)
2000年(平成12年) 長野県長野市	2010年(平成22年) 日本科学未来館(東京都)	2020年(令和2年) 紙上開催
2001年(平成13年) 滋賀県草津市	2011年(平成23年) 東日本大震災の発生にともない中止	2021年(令和3年) オンライン
2002年(平成14年) 神奈川県小田原市	2012年(平成24年) 早稲田大学 西早稲田キャンパス(東京都)	2022年(令和4年) オンライン
2003年(平成15年) 長野県佐世保市	2013年(平成25年) 早稲田大学 西早稲田キャンパス(東京都)	2023年(令和5年) 国立オリンピック記念青少年総合センター及びオンライン
2004年(平成16年) 宮城県仙台市	2014年(平成26年) 早稲田大学 西早稲田キャンパス(東京都)	2024年(令和6年) 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)
2005年(平成17年) 愛知県半田市・美浜町	2015年(平成27年) 早稲田大学 西早稲田キャンパス(東京都)	2025年(令和7年) 大阪府大阪市(大阪アカデミア・大阪府知事庁舎)



1996 ワクワドキドキ！「こどもエコクラブ」全国へ発信
1996活動交流会「こどもエコクラブ全国フェスティバル」

開催日：1996年3月23日(土)
会 場：神奈川県横浜市のランドマークホール、はまぎらホール(ヴィアマーレ)
初めての全国フェスティバルが開催され、全国から代表8クラブが集結。活動報告や通信レポート、ビデオメッセージの発表が行われ、会場は子どもたちの熱気に溢れました。
サポーターが交流する「サポーターズシンポジウム」や、子どもたち同士の交流企画「みなとみらいウォッチング」も実施され、記念すべき第一歩となりました。



1997 会場のみんなとつながり！
1997活動交流会「こどもエコクラブ全国フェスティバル」

開催日：1997年3月28日(土)~29日(日)
会 場：神奈川県川口市(川口記念文化センター(リリア))
「ウォークラリー」(川口)で交流を深めた子どもたちは、グアムのグロエムール紙や会場のみんなといっしょに「なごみ清掃ウォーク」で地域貢献もついでに考えました。また、代表10クラブの活動発表、エコリポートもくしゅん展示、サポーターの意見交換会などを通じて1年間の活動をもりかきました。



1998 最新型セッションスタート
1998こどもエコクラブ全国フェスティバル in NAGOYA

開催日：1998年3月28日(土)~29日(日)
会 場：愛知県名古屋市(名古屋市立公会堂、裁判長公園)
各都道府県から1クラブずつ回帰した子どもたちが互いに交流を深め合う「最新型セッション」を初めて企画しました。熱心にお互いの活動を取材し合う子どもたちの様子が印象的でした。また、環境について楽しく学べるスタンプラリー—一部参加したこどもエコクラブが実践された大人気大いに「こどもエコクラブ」の活動をPRできました。



1999 「エコまる」総選挙！
1999こどもエコクラブ全国フェスティバル in 北九州

開催日：1999年3月27日(土)~28日(日)
会 場：福岡県北九州市(北九州市立立花青年の家、グリーンパーク)
最新型で取材合戦！互いに活動を真剣に紹介しようが、あちらこちらで開かれました。緑あざやかな公園では、グイズラリーを体験、環境に関するいろいろな実感をしました。お昼食、たしこまるは、でこすく子どもたちの人気者になっていました。



2000 星の輝光時に感動
こどもエコクラブ全国フェスティバル2000 in ながの

開催日：2000年3月25日(土)~26日(日)
会 場：長野県長野市(ビッグハット、観光庁)
格別になった最新型セッションでは、手作りのグッズで活動をアピール、ビッグハットには長野の歴史や文化に触れるコーナーがいろいろ用意され、季節はずれの雪もかからず、会場は大盛況でした。また、夜九時の観光庁でも、長野の歴史や文化に触れることができた。



事業発足から5年間(1995~2000) 横浜、川口、名古屋、北九州、長野



地域での全国フェス(2001~2004)
草津、小田原、佐世保、仙台



10周年~(2005~2008)
美浜/半田、亀山、横須賀、北九州



東京開催(2009~2010)

2011年は東日本大震災に伴い開催中止となりました

2012 地域を元氣、日本を元氣に! こどもエコクラブ全国フェスティバル2012

開催日: 2012年3月25日(日)
会場: 早稲田大学 西早稲田キャンパス理工学術院(東京都新宿区)

大学との連携として早稲田大学での開催がスタート! 東日本大震災からの復興への思いを込め、「地球を元氣に、日本を元氣に」をテーマとし、翌新聞も「未来にまちづくり」を特集。代表クラブが日頃の活動に加えて街づくりについても元氣に発表・交流をしました。企業・団体ベース見学で学んだことを日本地図に感想を貼る企画やエコセミナーなどを通じて、未来へ向けたエコ宣言を考え、発信しました。

2013 みんなで決めるよこどもエコクラブ大賞! こどもエコクラブ全国フェスティバル2013

開催日: 2013年3月24日(日)
会場: 早稲田大学 西早稲田キャンパス理工学術院(東京都新宿区)

有識者による審査に加え、翌新聞をもとにした当日のプレゼン発表を聞いて参加者同士が投票で選ぶ「こどもエコクラブ大賞」が初めて実施されました。自分たちの賞は自分たちで決まろう! をテーマに、6つのグループに分かれて手選りステージでの本選発表! みんなの投票の結果、初代大賞は、沖縄県のとぎと元氣村こどもエコクラブが選ばれました。

2014 活動フォトコンテスト抽選! こどもエコクラブ全国フェスティバル2014

開催日: 2014年3月23日(日)
会場: 早稲田大学 西早稲田キャンパス理工学術院(東京都新宿区)

ニコン協力により、こどもエコクラブの元氣な活動の様子や環境の思いを多くの人に伝える活動フォトコンテストを実施。全国フェスの参加者の投票により年次賞を決定しました。早稲田大学の学生食でのランチでア大学生賞分を味わったあとは、紙日記部門受賞メンバーは「エコまるごとく」やクイズに挑戦。みんなで決めるよこどもエコクラブ大賞は「西表ヤマコクラブ」、様々なプログラムを通してこれらの活動や暮らしの中でできるエコについて考えました。



すべての展示パネルの詳細データは上記の二次元コードよりダウンロードできます。

弊協会自主事業としてスタート (2012~2014)

20周年前後 (2015~2017)

オンライン併催へ (2018~2023)

対面開催へ (2024~2025)

クロージングセレモニー

楽しかった全国フェスティバルも、いよいよ終了の時間となりました。30周年の特別企画として、こどもエコクラブのOB・OGへのインタビュー動画を上映。「あなたにとってこどもエコクラブとは」という問いに対し、「今の自分の原点となったもの」「夢や目標が芽生える場」などの言葉が紹介され、これまでの活動の積み重ねや広がりを感じる時間となりました。

続いて、全国フェスティバルを通して学んだことや感じたことの振り返りを行い、参加したメンバーからは「たくさんの仲間と交流できた」「いろいろな活動を知ることができた」といった声が聞かれました。一日を通して得た気づきや経験が、今後の活動への意欲につながっている様子が見えられました。

最後に、「こどもエコクラブ憲章」を参加者全員で読み上げ、これからも環境活動に取り組み続けていくことを誓い合いました。

今回の全国フェスティバルは、30周年の節目を迎える機会ともなりました。今後は形を変え、各地域における交流や学びの場を軸とした新たな展開を予定しています。これからのこどもエコクラブの取組にも、ぜひご期待ください。



🟡 みんなで集合写真



参加クラブからの活動レポート

全国フェスティバル終了後、地域に帰ったそれぞれのクラブから、全国フェスティバルで感じたこと、わかったこと、多くの仲間に伝えたいことなどを満載した活動レポートが届きました。クラブからのレポートは、参加できなかった全国の仲間や関係者、その他多くの皆さんに発信するため、子どもエコクラブウェブサイトでも紹介いたします。



サポーターの声(一部抜粋)

- ・小学生にもわかりやすく、時間も短いので短期集中することができた。
- ・エコ活セッションでの質疑応答の時間やチーム以外のクラブと交流できる時間が欲しかった。
- ・全国から集まってきているメンバーを間近に見て、子どもエコクラブの規模の大きさを実感できました。
- ・全国に、これほど多くの仲間がいると知り、驚きと同時に理想像が育まれる。
- ・セッションでの発表も素晴らしかったが、チーム内・交流タイムでの雑談の内容までも驚かされるが多かった。
- ・見応えのある発表や壁新聞が多く、企業のアピール内容も魅力的だった。
- ・クロージングでの卒業生からのメッセージについて。子ども時代に経験したことを振り返り、感じたことを私たちサポーターに知らせてくれたことは本当に嬉しいサプライズでした。
- ・これからも子どもエコクラブが末永く続いてほしいです！

＜参考:今後の全国フェスに代わる交流プログラムについて希望するもの＞

- ・地域ブロックや地方ごとの交流会(サポーターがより交流できるようにしていきたい)
- ・テーマごとに集まったオンラインミーティング
- ・対面式プログラム・自然体験プログラム
- ・(テーマ別等でリクエストを受けた)クラブ同士のマッチング・クラブ訪問

参加クラブ一覧

【壁新聞部門】

都道府県	市区町村	クラブ名	壁新聞タイトル
青森県	弘前市	HEP21 エコクラブ	だんぶり池の仲間たち
宮城県	仙台市	スケッチ子供隊	Let's 水みらい新聞
秋田県	秋田市	あきた緑の少年団	2025 あっ！クマ！！
茨城県	水戸市	逆川こどもエコクラブ	ふえすぎた外来生物～ぼくたちはどう向き合う?!～
群馬県	伊勢崎市	エコクラブくわまる	2025 年めっちゃ活動したよ！
埼玉県	三芳町	竹の子エコクラブ	竹の子エコ新聞 2025
東京都	中央区	中央エコキッズ	自然とつながる石けんリース新聞
神奈川県	横浜市	二ツ池こどもエコクラブ	二ツ池しんぶん 2025
山梨県	甲府市	和泉エコクラブ	環境未来部しんぶん
静岡県	富士市	原田湧水クラブ	未来へつなげ富士のめぐみと自然 -森から水へ次にのこしたいいのち-
愛知県	半田市	半田こどもエコクラブ	のぞいてみよう！！愛知の自然
三重県	亀山市	魚と子ども Kids クラブ	鈴鹿川探検隊シリーズ
滋賀県	甲賀市	山内エコクラブ	プラネットリーダーズ ゴミだけどゴミじゃないプロジェクト
京都府	京都市	西京極こどもエコクラブ	思い出いっぱい！
大阪府	大阪市	せいわエコクラブ	SDGs 2025 ～水はどこから～
兵庫県	神戸市	玉一アクアリウム	明石川と共に生きる ～川は私たちが川(変わり)私たちが川で川(変わる)～
奈良県	天理市	福住こどもエコクラブ	完全無農薬米作り
島根県	出雲市	上津探検隊	ケロケロカエル調査新聞 19
岡山県	津山市	わくわくエコクラブ	2025 年わくわくエコクラブ活動報告
広島県	福山市	広島大学附属福山中・高等学校 エコクラブ	STOP THE 酸性雨～その雨,本当に大丈夫?～
徳島県	吉野川市	あわっ子！エコ！クラブ	阿波の徳島未来へ紡ぐ あわっ子エコ活新聞
福岡県	福岡市	ぶらぶらあぶらクラブ	2025 油山生物多様性新聞
長崎県	佐世保市	だいやエコクラブ	こどもサステナブル新聞 2025～こどもツールズム・エコ 会社運営中 九十九島発 SDGs 経由 地球行き～
熊本県	熊本市	熊本市立池上小学校 緑化ボランティア隊	みんなでつくろう 緑化環境新聞
大分県	大分市	おおいた元気キッズ	太田川の生物多様性
宮崎県	宮崎市	ポニョ	ぼくらのぼんぱく
鹿児島県	鹿児島市	色響(IRO&HIBIKI)	「海からの便りを音にのせて」
沖縄県	本部町	もとぶ元気村エコクラブ	もとぶ元気村こどもエコクラブ新聞 -地球にいいことはじめよう-

【絵日記・デジタル部門】

都道府県	市区町村	クラブ名	部門	作品タイトル
茨城県	水戸市	逆川こどもエコクラブ	絵日記	へいけぼたるさんまたあおうね
大阪府	大阪市	せいわエコクラブ	絵日記	オオカマキリを見つけた
青森県	弘前市	HEP21 エコクラブ	絵日記	ぼくたちのだんぶり池
大阪府	大阪市	プラネットリーダーズ	絵日記	上流も下流も同じきれいさで流れる水の未来
栃木県	栃木市	学生団体 Rainbow	デジタル	捨てない防災 ～アルファ米から始まる日常の備え～

多くの方々に全国フェスティバルを知ってもらうため、さまざまな手法を用いて広報活動を行いました。

- ・子どもエコクラブホームページ、SNS、メーリングリスト等にて、全国の登録クラブ及び地方自治体等へ発信。
- ・公益財団法人日本環境協会 プレスリリース
- ・環境省、文部科学省、子ども家庭庁、記者クラブへのリリース
- ・地方自治体、環境関連施設、環境団体等へのリリース
- ・子どもエコクラブ パートナー企業・団体へのリリース など

都道府県代表のクラブの紹介等、全国フェスティバルに関連する情報は、メディアや各地方自治体、パートナー企業・団体、環境関連施設、環境団体、教育委員会等によって、様々な媒体に掲載されました。

◆地方自治体(一部抜粋)

青森県(2026.2)



長崎県(2026.2)



大阪府高槻市(2026.3.5)



静岡県環境学習ポータルサイト(2026.2.13)

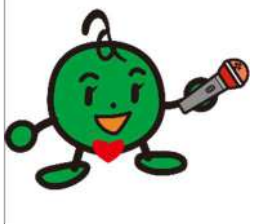


長崎県佐世保市(2026.4.1)



◆メディア(一部抜粋)

静岡新聞(2026.4.3)



長崎新聞(2026.4.23)



◆企業・団体等(一部抜粋)

株式会社タカラトミー (2026.2.13)



公益財団法人古紙再生促進センター (2026.3.27)



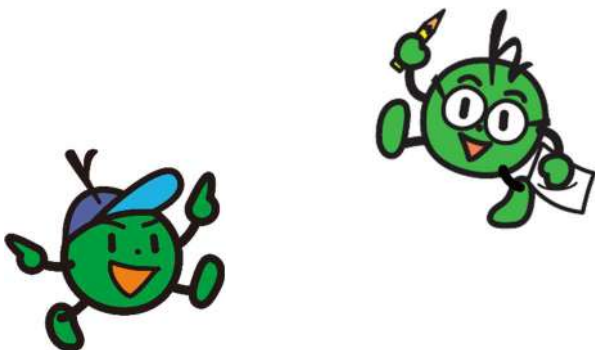
日本 CCS 調査株式会社 (2026.3.31)



A-PLAT 国立環境研究所
気候変動適応センター (2026.3.21)



加山興業株式会社 (2026.3.21)

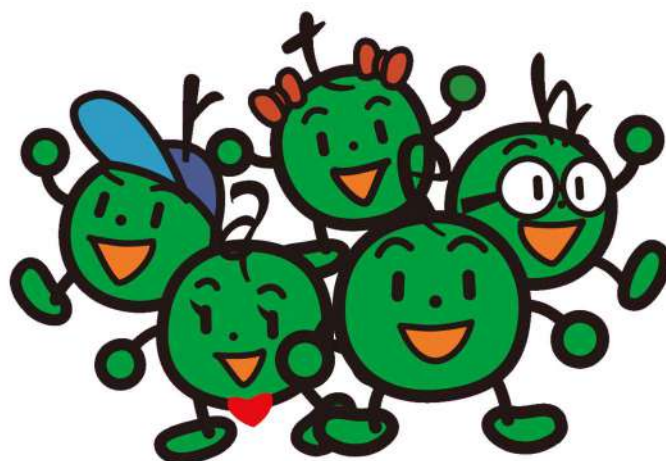


こどもエコクラブは、多くの企業・団体の支援により活動しております。

朝日テクノ	タカラトミー
アドバコム	宝ホールディングス
アフラック・アセット・マネジメント	鉄建建設
アフラック生命保険株式会社	鉄道貨物協会
アポクリート	東京国際フォーラム
アマノ	トヨタ自動車
アントレックス	奈良健康ランド 奈良プラザホテル
イオン 1%クラブ	日本CCS調査
出光興産	日本 WPA
INNER ENERGY TECHNOLOGY	日本容器包装リサイクル協会
SG ホールディングスグループ(佐川急便)	長谷工コーポレーション
エネラボ	パナソニックマーケティングジャパン
エフピコ	バンダイナムコホールディングス
塩ビ工業・環境協会	日の丸リムジン
加山興業	ビー・エフ・シー
関西電力	フォレストパックス
共立理化学研究所	ふくろうのはね
キリン	ブリヂストン
KIREI produce	プロントコーポレーション
グリーンクロスジャパン	文化シヤッター
ケニス	マツキヨココカラ&カンパニー
コカ・コーラ環境・教育財団	ミールケア
こくみん共済 coop〈全労済〉	三井住友海上火災保険
古紙再生促進センター	三菱地所レジデンス
さいかつ農業協同組合	三菱電機
嵯峨野	メルカリ
さくら薬局グループ クラフト	山田養蜂場
産業環境管理協会	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
CCCMK ホールディングス	リード
ジーエス・ユアサ バッテリー	リトルスタジオインク
JBRC	龍角散
ジャパンビバレッジエコロジー(リサイクル・プラザ JB)	
住商フーズ	
3R・資源循環推進フォーラム	
3R推進団体連絡会	
全国牛乳容器環境協議会	
積水化学工業	
象印マホービン	
ターナー色彩	



(五十音順・2026年3月現在)



■ 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5階
TEL 03-5829-6359 FAX 03-5829-6190
こどもエコクラブウェブサイト <https://www.j-ecoclub.jp/>